

令和3年度第1回 東かがわ市地域公共交通活性化協議会協議内容

日時 2021/7/21 (水) 15:30~16:30

場所 東かがわ市交流プラザ2階ホール

■議事次第

2. 委員委嘱及び会長、副会長の選任について

○会長、副会長について委員で協議いただき、前回から引き続き宮崎会長、原副会長が選任された。

3. 本会議の役割について

会長) 規約2条に地域公共交通計画の策定及び進捗管理といったことが主にやることになっている。
公共交通施策は単に交通事業者や行政がやるだけではうまくいかない。自分の立場で何ができるかを各委員が考えてほしい。補足資料として、中部運輸局が作成された資料を配布している(資料説明)

4. 今年度の取組み予定事業について

○資料3にて事務局より説明

木村委員) 引田地区で予定されているグリスロの運行によりタクシーの売上が大幅に落ちた場合、何等かの救済措置は考えられているのか

事務局) その影響把握も含めて実証と考えている。減少などがあれば市にも連絡いただきたい。

会長) 今まで無かったニーズが掘り起こされたということであれば望ましいが、既存のタクシー利用が置き換わっただけなら問題がある。きちんとPDCAをやっていただきたい。

委員) 今年の10月から引田線の三本松~引田間のルートを変更したい。一日3便(平日のみ)、商店街や白鳥のマルナカを経由する便を作る(資料説明)。

会長) 大川バスのチャレンジの一つということである。また結果をこの場でお示しいただければ

副会長) グリスロについて、何故引田地区で運行するのか。住民しか利用できないのか。運転士や事業者はどこになるのか

事務局) グリスロの車両特性上、速度があまり出せないこともあり比較的狭い生活圏で形成されている地区、商業施設や行政施設、交通結節点になる駅が集約された地域ということもあり引田地区での実証を考えた。一番は市民の移動だが、期間の後半には観光での利用も予定している。事業の実施主体は市であるが、地域の方の協力を得られることが重要と考えている。引田地区はコミュニティ協議会が立ち上がっていないので、地域で活躍されている風の港まちづくりネットワークに運行等の協力をいただく予定。

副会長) 停留所はどうするか。

事務局) 主要な停車場所は作るが路線はフリー乗降とする予定。

会長) 乗り替わったのであれば、今のタクシーより良い部分があるということにもなるため、その辺りも含めていろんな意見を聞くべきと考える。

手嶋委員) 引田地区への導入経緯として、道路が狭隘であるためという説明があったが、まずニーズがあつての交通であり、導入ありきの計画に聞こえた。その辺りも含めて検証が必要で導入ありきであれば悪影響も懸念される。ニーズや持たせる機能を含めて交通計画の中で検証しないとイケない。

事務局) 引田地区については住民の生活環境に観光施設も入っているという特徴もある。

大字委員) 地域で公共交通について話合いもしたが、具体的にどうやったら良いか見えてこない。実践の仕方を教えてほしい。教えてもらえれば進められるところを進めていきたい。

会長) 地域資源が明確にわかっていないので、もう少し地域の状況を教えていただきたい。例えば地域の祭りとかでのニーズもあるのではないかな。

事務局) 引田へのニーズがあり、実現する手段としてグリスロを実証したいと考えている

副会長) 手嶋委員が指摘されたのは、しっかり仮説を作って検証することだと思う。引田地区は観光でも注目されている。

南委員) まずは住民の方に PR して乗っていただかないと仕方ない。そうした上で改善等していく必要がある。

会長) 取組⑪に取組が挙がっていないが、鉄道、バス、タクシーが集まって話をする場をセットする等が必要。次回は来年の2月ということだったが、10月11月頃に集まって中間報告があればと思う。地域の生活の困りごと、見落とししている部分等の確認にもつながる。

事務局) 意見交換の場をできるだけ作っていきたい。グリスロは11月までなので、その結果を踏まえて2月開催を想定していたが、それ以前に開催することを想定する。

会長) 計画に載っていないものも随時チャレンジしていきたい

5. その他

会長) 本会議は関係者間での顔合わせ、意見交換の場の意味が大きい。所属内の移動等で委員の変更もあるため、自己紹介を含め各委員に一言いただきたい。

○各委員より自己紹介があつた。

以上